

ふれあいの橋の会

REPORT なんぶ

向日葵（ヒマワリ）

と き 2026年7月23日（木）10:30～12:00

見学先 認定こども園 キッズタウンさくら 米子市兼久 606-3

出席者 【委 員】生田 仁史、鶴亀 寿子、岸本 保子、田子とし子

【なんぶ 幸朋苑】 永見 和泉 （認定こども園 キッズタウンさくら 園長）
斎木 みどり （認定こども園 キッズタウンさくら 副園長）
河井 加奈子 （認定こども園 キッズタウンさくら 主任）
【法人本部】 荒井 祐二 （監 事）

NANBU Area Report





■なんぶエリアの現況、施設概要と課題

荒井監事：本日は、幼保連携型認定こども園のキッズタウンさくらを見学していただきます。はじめに、なんぶエリアの現況と施設概要、課題等を報告してください。

永見園長：なんぶ幸朋苑は今年、開設30周年を迎えます。職員は、9月19日（土）の祝賀行事に向けお揃いのポロシャツを着てムードを高めています。さくら保育園も年長児を中心に、踊りを披露する予定で、ご家族と一緒に楽しんでいただこうと思っています。

キッズタウンさくらは、2013年度（平成25年度）米子市から社会福祉法人こうほうえんに民間移管され、幼保連携型のこども園として運営しています。0歳児から就学前までの幼児が対象で、現在109名が通園しています。1号、2号、3号という認定区分がありますので、保育時間や保育料が異なります。育休や産休制度が普及しているため、各保育園とも0歳児が減少傾向にあります。今年の4月1日時点では6名でした。来年度は、4月の0歳児の定員を減らし、1歳児を増やした調整を考えています。職員配置や経営上の観点で必要となっています。7月に入りますとプールの利用を始めますが、連日暑い日が続いていますので、屋外は危険な状態で、室内での対応に変更しています。熱中症対策として、水分補給をきちんと取るようにしています。保育園を利用していない児童を対象に、一定時間の利用ができる「こども誰でも通園制度」の実施施設となっていますが、現時点では希望者はありません。一時保育などの制度もあり、市も積極的に広報されていないようです。



生田委員：0歳児から未就学児まで、100名を超える園児をお世話するというのは、とても大変だと思います。何人の職員が配置されていますか。

永見園長：27名の職員で対応しています。保育教諭、管理栄養士、看護師、調理員から事務員まで、様々な専門家が一つのチームとして取り組む教育・保育を実践しています。

斎木副園長：私は、3歳以上児を担当しています。プール開き後、4回利用しましたが、この頃の天候は危険な状態です。**夏ならではの遊び、季節を感じられる遊びを確保したい**と考え、いろいろ工夫しています。限られた職員配置の中で、発達が気になる児童についても日々保育にあたっています。熱中対策をしていますが、**園児自らが「自分の命は自分で守る」という自覚を持たせることが大事だ**と考えています。汗拭きタオルを持参させ、いつでも必要なときにお茶を飲んで水分補給するよう指導しています。未就学児を対象とした子育て支援事業の「子育て広場さくらんぼ」は、毎月第2・4水曜日に開いています。ホームページなどでPRしています。

河井主任：3歳未満児を担当しています。急に暑い夏になったため、体調を崩す園児がいましたが、現在は落ち着いています。**健康第一を基本に**、家族とは連絡ノートで日々連携し、相談対応しています。年齢に応じて、水にふれるようにし、汗を流すようにしています。0～1歳児は7月8日に夏祭りを開き、家族と一緒にゲームなどで楽しみました。食事については、管理栄養士が独自の献立を作成し、子どもの発達状況に応じた食事を用意していますが、ご家族にも見ていただきました。室内で遊べる段ボール遊びや綱渡り、水を使った遊びなど、子どもたちには遊びを通じて充実した園生活を送っていただくよう工夫しています。

岸本委員：全国的に手足口病が流行しているようです。さくら保育園ではどうですか。

永見園長：さくら保育園でも感染が広がりました。症状は、それぞれ異なるようです。大人も感染します。

鶴亀委員：子どもの感染症で溶連菌というのがあります。保育園のような集団生活をしていると、感染症対策が大変ですね。

永見園長：さくら保育園には、看護師を配置しています。日々感染予防に気をつけるようにしています。

田子委員：プールの利用が制限され、子どもたちは楽しみが少なくなっているかもしれませんね。

永見園長：年長児が対象になりますが、谷川探検を予定しています。**自然とかわかり、自然に親しむ機会を増やす**ようにしています。

③





■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内外を見学していただきました。配布しました**評価表**（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）の**チェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください**。毎回、話題となりますが、園周辺の農業用水路沿いの除草は、どうされていますか。

永見園長：法勝寺川の堤防は、先日、鳥取県が除草しました。農業用水路は、組合で管理しているのですが、こうほうえんに法面の除草依頼がきます。職員では対応できませんので業者に発注予定です。

鶴亀委員：園児の足元をみると、ゴム草履を履いていました。

永見園長：鼻緒を指で挟んで歩くため、普段使わない足裏の筋肉や指が鍛えられるといわれており、夏はゴム草履を履くようにしています。

岸本委員：いつ訪問しても、子どもたちから元気をもらいます。自分の子どもや孫がこんなに小さかったのだと思い出し、とても懐かしく、嬉しく思います。

田子委員：私は、市が管轄していたさくら保育園の2期生です。バスの定期券を買ってもらい、一人で通っていたことを思い出します。現在は、保護者が送り迎えをしているのですか。

永見園長：全員、保護者の送迎です。

生田委員：各クラスを見学して思うことは、年齢に応じてきちんと教育がなされていることです。小学校に行っても、きちんとできるのは保育園での生活が基盤となっているのでしょう。

鶴亀委員：子どもたちが、毎日楽しく喜んで通っていることが一番です。訪問するごとに、新しい発見があり、今日もワクワクしながら来ました。

永見園長：子どもたちは、見学者があるととても喜びます。昨日は、中学生たちが来園しましたが、喜んでいました。いつでも気軽にお越しください。

荒井監事：次回は、**8月27日（木）14：00～ なんぶ特養、生活支援ハウス** です。 ④

